

テーマ

繋がろう興東、育てよう「興東ブランド」

目標

少子化を乗り越えて、興東地域として絆を深めよう

今年度の取組紹介

1. 第4回興東フェスティバル

昨年度に引き続き、学校からの発信として今年も興東中学校に集い開催しました。幼稚園児の踊り、小学生は学年ごとに学習成果を元気に発信し、中学生はユーモアにあふれた劇を学年ごとに堂々と楽しく発表しました。昼食は小中の保護者が手伝ってくださり、地域の食材で牛丼が販売され、子どもたちは愛情を感じて味わって食べていました。



[牛丼販売]

2. 第3回興東里山まつり

地域の良さを発信する場として、今年は興東中学校と青少年野外活動センターで開催しました。地域の方々による合唱、作品展示や産物の販売、そして地産地消のシシ汁と蕎麦打ちなど地域ぐるみの取組となりました。また、スペシャルゲストのナライガーや地域の方々による体験講座など子どもたちと地域住民がともに楽しむ場面が数多く見られました。最後に小学生、園児と中学生の2部構成で大柳生地区の「太鼓踊り」を披露し地域の皆さんから大きな拍手が送られました。



「太鼓踊り」

今年度のまとめ

“興東フェスティバル”“興東里山まつり”での取組から、子どもたちは、「地域の人たちをおもてなしできた」「緊張したけどしっかり発表できた」「興東地域を大事にしたい」など地域への想いを感じることができました。地域の方々も、「地域が1つになった気がした」「身近にいろいろ取り組んでいる人がいてびっくりした」「太鼓踊りには感動した。」など、行事を通じて学校と地域の関係を大切にしていこうとする気持ちがさらに強まりました。

来年度に向けて

27年4月から柳生中学校との統合が決定し、それぞれの地域教育協議会の話し合いを大事にしながらか、これからの取組を考えていかなければなりません。そのために、地道な取組の積み重ねで、お互いを理解し立場を超えて協働する意義を確かめることを、それぞれの地域に浸透させ、新しい人材育成、さらに地域がもっと主体的に行事に取り組めるようにしていきたいと思ひます。

テーマ

繋げよう興東 発信しよう「興東ブランド」

目標

体験学習に主体的に取り組み、地域や自分のことを積極的に表現する。

今年度の取組紹介

1. 体験学習

地域のゲストティーチャーによる「陶芸教室」、「生花教室」、「そば打ち教室」、「マナー教室」、「篆刻教室」などの様々な分野の体験は、生徒たちにとって多くのことを学ぶ貴重なものとなりました。また、今年は地元自治会の協力を得て、白砂川の生物観察を初めて行い、この経験は地元の良さを改めて再認識する機会になりました。さまざまな体験学習を通して将来への夢を膨らませるキャリア教育としても有意義でした。



「白砂川生物観察」

2. 食育推進事業（キャリア教育）

今年度の食育の一環としてのサツマイモパウンドケーキ作りでは、苗植え、水やり、収穫とすべ全校体制で行いました。ケーキを地域の方々に喜んでもらえるようにイモ植えから意識してつくったので、一人一人が真剣にまた責任を持って、取り組むことができました。“興東里山まつり”での販売は、あっという間に完売したため、生徒たちは驚き、喜び、感動しました。つくるだけでなく販売することで、キャリア教育にもなりました。



「サツマイモケーキ作り」

今年度のまとめ

体験学習に取り組む生徒たちの真剣な姿は、講師として来校されるすべての方から高評価を得、生徒たちには、学習毎に新たな発見があり、自分の生き方を改めて考えるよいきっかけとなりました。“興東フェスティバル”“興東里山まつり”では、少人数の中で育った生徒たちが、多人数の前での舞台発表で堂々と自己表現し、地域の方々と交流することでコミュニケーション能力の伸長を図り、自己肯定感を高める良い機会となりました。

来年度に向けて

来年度4月から柳生中学校との統合が決定し、新たなスタートとなります。そこで、今までの取組をしっかり見直し、体験学習・食育推進事業などがさらに充実するよう進めていきます。また、地域との連携もさらに密にしながら、今までのお互いのイベントを見直し、自主的に取り組み、自信をもって自己表現できる生徒の育成を目指します。

テーマ

つながろう興東 育てよう 興東ブランド

目標

地域の様々な人々とふれあい、地域との連携・協働を目指す

今年度の取組紹介

地域の多様な人との出会いを大切にするとともに、地域の教育力を最大限に受け本校教育を推進しています。なかでも“もち米作り”を昔ながらの農法で行い、米に関わる様々な体験学習を実施しました。田起こしに始まり、田植え、草取り、稲刈り、脱穀等収穫に至るまで、また、米作りから得られる副産物（藁等）を使って様々な活動を行いました。年間を通して地域の方々に支援していただく中で“しめ縄づくり”“門松作り”“大とんど”の活動も盛大に実施できました。農業は自然相手の活動でその年々の気象状況に大きく左右され収穫に影響を及ぼします。そんな中で農業、科学技術、努力そして協力の大切さを知り感じることができました。米作りの副産物である藁を使っての“しめ縄づくり”では、地域民生児童委員の方々をはじめ、児童の祖父母、保護者の有志が一堂に会し立派なしめ飾りを完成させることができました。このしめ飾りを家に供え“大とんど”で青竹の火と共に収穫の感謝と今年の豊作を願って燃やす活動を催しました。

また、地域で行われていた大柳生太鼓踊りを地域の活動者を招き、音楽科の「伝統音楽学習」とも結び付け、小学生なりの太鼓踊りを披露することができました。かけ声やリズムに合わせて踊る難しさ、その中に込められている願い思いなどを学習し、地域が守り通してきた人々の情熱にも触れることとなりました。この学習も地域の方の協力があった賜であります。



今年度のまとめ

地域に伝わる伝統文化・行事にも触れることができ、地域に誇りを持ち、さらに視野を広げる教育活動につなげることができました。餅米作りの一連の活動を通して、地域の人々との関わりがより広まっています。「我が地域の学校」という住民の意識が日に日に増してきたのか校区民全体が活動に協力すると共に理解が得られるようになってきました。

来年度に向けて

校区から得られる人の温かさ、地域の産業、伝統文化の再確認と伝承していくことの大切さを「生活科」「総合なら科」等を通して更に学び、郷土のことを誇りに思うと共にそのことをしっかり発信できる児童に育てていきます。今年まで行ってきた活動を地域と連携・協働し、人と人とのふれあいから生まれる豊かな心を大切に、地域との絆を強固たるものにしていきたいです。

テーマ

“元気なからだ” “輝く笑顔” 大柳生っ子

目標

豊かな心もち、主体的に活動する幼児を育む

今年度の取組紹介

9月興東フェスティバル・11月興東里山まつりと、地域の行事に参加しました。地域の伝統文化にふれ、小学生や中学生と一緒に〈太鼓おどり〉ができ、その演技をたくさんの地域の方に見ていただき、認め励ましていただいたことは、子どもたちの大きな自信となり、自己発揮する力になりました。



地域の中学校の先生の協力で“ちびっこクラブ”で、柔道を教えていただきました。柔道の礼儀や技だけでなく、自分の出来ないことに挑戦する心、負けても自分で立ち向かっていく心等、大切な心をもつ体験ができました。

地域の方を招いてお茶会をしました。年3回経験した様子を見ていただきました。「どうぞ、おめしあがりください。」と、緊張しながらお茶を運んで出していました。講師の先生からは作法やおもてなしの気持ちを教えていただき、茶室に飾る茶花を通して、日本の自然や四季の素晴らしさも感じることができました。



今年度のまとめ

- ・地域の大勢の方から、「よく頑張っているな。」「すごいことができるようになったね。」と、認めて励ましていただいたことで、子どもたちの大きな自信と意欲が高まりました。
- ・様々な経験から、思いやりの心・おもてなしの心・挑戦する心等を感じて心豊かになり、自分たちで遊びや生活を進めていこうとする気持ちをもてるようになりました。

来年度に向けて

- ・地域の中の幼稚園として、みなさんから愛される幼稚園として、幼児教育を発信していきたいと思えます。
- ・地域の教育力を活かし、元気なたくましい体と心づくりの実践を工夫していく必要があると考えます。